

# ふれあい119

H25.2.22  
NO.25



**地域内の防火パレード、みんな元気に『火の用心』**

# 春季全国火災予防運動

(3月1日(金)～7日(木)

## 「消すまでは 出ない行かない 離れない」

(平成24年度全国統一防火標語)

A color photograph showing a group of people, including several children in red uniforms with white shoulder patches, interacting with an elderly woman in a doorway. The woman is wearing a light-colored coat and a headscarf. The setting appears to be a residential building.

地区内を訪問し  
「火の用心」を  
呼び掛ける園児たち

(園児数64名、職員数6名)は、平成19年12月7日に北上地区消防組合管内の幼年消防クラブでは10番目に結成された園内外で防火活動を行っています。写真は昨年の秋、幼稚園で作成した亀仙人の半てんを着用し、寒空の下元気よくパレードに出発する園児たちの様子(左)とパレードの途中地域内の家庭を訪問し、「火の用心」を呼び掛ける園児たち(左)です。

園児たちの願いを地域の皆さんでかなえてあげたいのですね!

## 藤根幼稚園幼年消防クラブ 「防火パノン」



火事をふせぐ。救急車で急病人やけが人を病院に連れて行く。こうした消防の仕事をするのは市町村とされています。しかし、市や町、村がそれぞれ単独で消防職員をやとい、消防自動車など必要な資機材をそろえるのは大変です。

そのため、となり合う市町村が共同で消防の仕事をすることがあります。

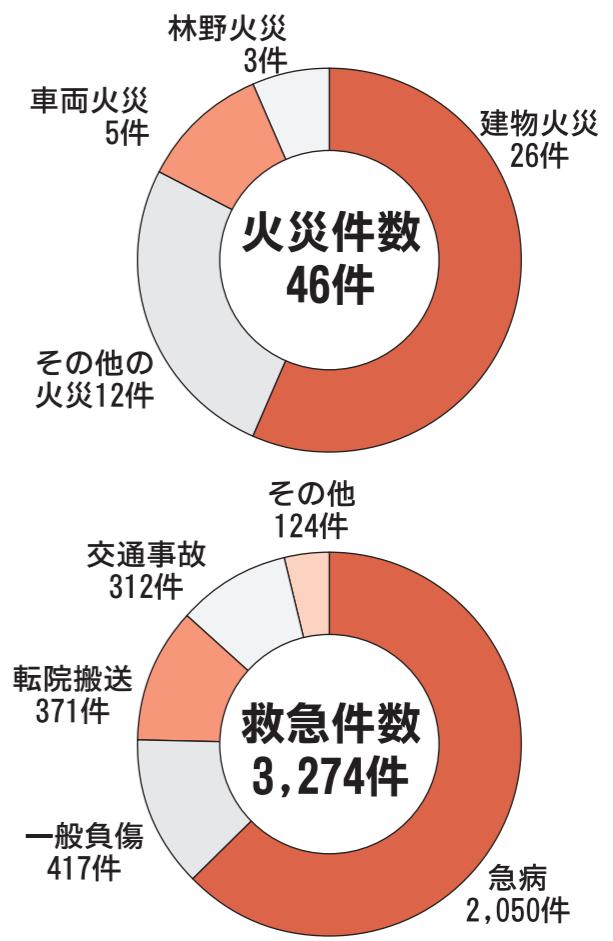
わたしたちが暮らすこの地域でも、北上市と西和賀町で「**北上地区消防組合**」をつくっています。

「**消防本部**」は、市町村に置かれる消防担当部局をいいます。組合消防では組合をつくる市町村の消防事務をまとめて担当し、消防署を運営しています。

「**消防署**」は、消防自動車や消防職員が配置され、火事や救急など第一線で消防の仕事をします。北上地区消防組合には、消防本部のもと「北上消防署」「西和賀消防署」のふたつの消防署があります。「消防組合」「消防本部」「消防署」。似ている言葉ですが、このような違いがあるのです。

「消防組合」？「消防本部」？

# 平成24年 火災・救急 出動件数



# 災害へ立ち向かう 住民のきずな



消火器を使用した消火訓練



## 自主防災訓練を行ってみての感想

江釣子第10区自主防災会  
本部長 高橋 正美さん

自主防災訓練では、消火訓練などのほかに、簡単な情報を最低5人に伝言していくという情報伝達訓練を取り入れ実施しましたが、最後は情報が少し変わってしまい、実際に災害が発生した際の情報伝達の難しさを実感しました。

今後は、地域のハザードマップ（危険個所や避難場所などを記入した地図）をみんなで話し合って作成したいと考えています。

これからも訓練を継続して行い、災害に強い地域づくりを目指したいと思っています。

## 江釣子10区自主防災訓練

平成24年12月2日、江釣子10区コミュニティセンターで、地域の自主防災組織の訓練が行われました。

平成20年4月に自主防災組織が発足して、初の訓練ということで、集まった地域住民の方々は最初のうちは戸惑った様子でしたが、訓練が進むにつれ、一人ひとりが普段から疑問に思っていることを話し合うなど、地域内での知識の共有ができ、有意義な訓練になった様子でした。



## ・火災対応練成会を実施しました・



まとに向かって放水



2階に隊員が進入

消防本部では、平成24年11月21日と22日の両日、消防本部敷地内で消防技術伝承のため火災対応練成会を開催しました。この練成会は、署所ごとに1隊4名のチームを計9隊つくり、競技方式で2日間実施しました。競技内容は、スタートで防火服と呼吸器をつけ、ポンプ車からホースを延ばしてまとに向かってに放水後、はしごを使用して2階にいる逃げ遅れた人を救出するまでの安全性、確実性及び迅速さを競いました。

練成会での各操作は、私たち消防職員の基本であり、新たに採用された職員に伝えてゆかなければならぬものです。これからもベテランから若手へと消防知識や技術の伝承に取り組み、地域の安全安心のため住民の皆様から信頼される消防を目指し更に訓練を続けます。

## 自主防災組織とは？

大きな災害のあった地域では、災害発生直後に電気、水道、道路などライフラインが障害を受け、また同時に火災やけが人が多く発生します。このため消防、警察をはじめとする公的機関の救援を受けることができない可能性が高くなります。

そのような状況の中で求められるのが、出火の防止、初期消火、避難誘導、災害にあった人の救出・救護、給食・給水の実施などを地域ごとに自主的に行う活動であり、これらの役割を担うのが**自主防災組織**です。

災害時に、住民各自がばらばらに行動しても効果は少なく、地域として効率的に災害に立ち向かうためには、地域一体となつた活動がはるかに有効です。

「私たちのまちは私たちで守る」という強い意識を持って地域の防災活動に取り組んでいきましょう。

## 自主防災訓練に参加しよう！

## 自主防災組織の役割とは？

- ☆情報の収集・伝達
- ☆出火防止・初期消火活動
- ☆避難所への誘導
- ☆救出・救護活動の実施(協力)
- ☆給食・給水活動



## 平常時

- ☆地域内の防災環境の確認
- ☆役割分担の確認
- ☆防災知識の普及
- ☆防災訓練の実施
- ☆防災資器材の整備
- ☆家庭の安全点検
- ☆避難時に援助の必要な人(寝たきりや体の不自由な方など)の把握



## 住宅用火災警報器は台所でも大活躍

- 取り付け位置を確認！
- 壁に取り付け：天井から15～50cmの間にイラスト付きで掲載しています。
- 定期的な作動点検！

点検は、本体の引きひもを引くものやボタンを押すものがあり、故障や電池切れを知ることができます。

※ 詳しくは北上地区消防組合ホームページをご覧ください。

地区	北上市 黒沢尻25区	北上市 長沼1区	西和賀町 新町	3 地区の平均
設置率	64 %	66 %	56 %	68 %

※ 詳しくは北上地区消防組合ホームページをご覧ください。

- 壁に取り付け：天井から15～50cmの間にイラスト付きで掲載しています。
- 定期的な作動点検！

点検は、本体の引きひもを引くものやボタンを押すものがあり、故障や電池切れを知ることができます。

平成24年中に北上地区の消防本部管内（北上市と西和賀町）で住警器が鳴って消防車が出動した件数は9件でした。そのうち調理中にその場を離れ、鍋や魚などを焦がして住警器が鳴った事例が7件あり、住警器を台所にも取り付けていたことで火災にならずにすんだ事例が多くありました。

## ・調理中その場を離れて